



令和7年7月30日

東日本高速道路株式会社

## 新たな高速道路サービス創出と地域社会の課題解決に向けて 『ドラぷらイノベーションラボ』 第Ⅴ期共創パートナー募集開始！

～高速道路の新たな体験価値を幅広く募集する4つのテーマで募集を行います～

NEXCO東日本(東京都千代田区)は、アクセラレータープログラム『ドラぷらイノベーションラボ』(以下、本プログラム)の第Ⅴ期パートナー企業募集を2025年8月1日より開始します。



### 1. プログラム実施の背景

当社はこれまでお客さまの「安全・安心・快適・便利」を追求し、地域と地域を“つなぐ”インフラを担う企業として“ヒト”と“モノ”の移動を支えてきました。近年、テクノロジーの進化や社会における価値観が多様化する中、我々もヒト・モノ・コトの移動に新しい「価値」をもたらし、持続可能な社会の実現に貢献する必要があると考えています。

新たな高速道路サービスの創出と実現に向け、様々なビジネス領域で大きな成長を志向するビジネスパートナーと、多くの強みを有する当社との共創による変革の加速を目指し、2021年に高速道路会社初のアクセラレータープログラムをスタートしました。これまで、23社のパートナー企業と実証実験を行ってきました。現在は第Ⅳ期募集で採択された企業を中心に、新たなサービス実現に向けた実証実験を展開しています。(※別紙「参考資料」参照。)

## 2. プログラム内容

本プログラムは、新たな技術や、革新的なビジネスアイデアを有し、未来の高速道路サービスに向けたイノベーションに意欲的な共創パートナーと、当社が保有する高速道路やサービスエリア・パーキングエリア(以下、SA・PA)などの実証フィールド、リソースや検証予算等を活用しながら、社会課題を解決し、高速道路事業のアップデートと新たなビジネスの創出を目指すものです。



## 3. 募集テーマ

本プログラムでは、高速道路の課題解決を幅広い視点から求める4つのテーマで共創パートナーを募集いたします。

### 《高速道路の新たな体験価値を幅広く募集する4つのテーマ》

#### ① 次世代高速道路に向けた安全・安心・快適・便利のアップデート

北海道から関東まで3,943km、1日302万台が利用するNEXCO東日本の高速道路。建設から50年以上が過ぎて老朽化対策等が急務な一方で、テクノロジーの急速な進展とともに自動運転車やコネクテッドカーの普及が現実となりつつある社会で、「安全・安心」や「快適・便利」をこれから数十年先も向上し続け、ヒト・モノ・コトの移動における提供価値をアップデートする。

(共創例)

- ・次世代高速道路(203X年)に向けた「安全・安心」の実現
- ・新しい移動体験による「快適・便利」を提供
- ・高速道路の更なる利便性向上
- ・高速道路維持作業の効率化・省人化

## ② サービスエリア・パーキングエリアの更なる価値向上

東日本エリア329カ所、お客さまの憩いの場としてのSA・PA。いつも地域経済に寄り添い、都市と地域、地域と地域を“つなぐ”ハブ・地域同士の結節点として活性化にも貢献してきた。これまでの「リフレッシュ空間」としての存在に加え、テクノロジーやサービスを深化させ、新たな顧客体験を提供し、SA・PAの更なる価値向上を実現する。

（共創例）

- ・SA・PAでの新たな顧客体験の提供
- ・SA・PAを“人が集まる場”へ
- ・地域コミュニティを活性化させる場づくり

## ③ 各種アセットを起点とした地域連携強化や新事業創出

1日302万台のお客さまとの接点や走行データ。不動産・金融・旅行などの事業。NEXCO 東日本が管理する多様で広大なフィールドで、テクノロジーの活用やソリューションの実装によって新たな顧客体験を提供し、従来の価値を向上させることはもちろん、更なる付加価値を提供する事業体へと進化・深化させる。

（共創例）

- ・SA・PAをハブとした地域活性化の推進
- ・“移動機会”の創出と“移動体験”の提供
- ・各種アセット・データの新たな活用方法

## ④ サステナブルな事業運営とSDGsへの貢献

人々の移動と経済を支えるインフラ会社だからこその責任。カーボンニュートラル・脱炭素社会・循環型社会の実現、自然災害への対策、地域や沿道の生活環境の向上、人口減少・高齢化に適応した運営方法の確立など、いつの時代でもサステナブルな事業運営を実現していく。更に、各ステークホルダーとも連携した社会全体のサステナビリティ・SDGsに貢献するスキーム構築を目指す。

（共創例）

- ・カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現
- ・循環型社会の実現
- ・インフラ機能の安定供給

#### 4. スケジュール

本プログラムは、以下のスケジュールで実施します。

なお、本プログラムでの検証の結果、継続する価値が高いと判断した取り組みに対しては、事業化に向けて更なる投資等を行うことを検討します。

2025年8月1日	エントリー開始
2025年8月7日	プログラム説明会(オンライン開催) ※プログラム説明会への参加をご希望の方は、本プログラム専用サイトよりお申し込みください。なお、ご参加いただかなくても、本プログラムへの応募は可能です。
2025年9月1日	早期応募締切
2025年9月17日	最終応募締切
2025年10月10日(予定)～	書類選考・面談選考
2025年12月(予定)	審査結果通知 / インキュベーション開始
2026年1月(予定)	採択案件の公表
2026年3月以降(予定)	実証実験 / PoC※実施

※PoC:Proof of Concept の略。コンセプト検証

※早期応募締切までにご応募いただいた場合、応募内容に対するフィードバック面談(30分)の実施、ならびに面談を踏まえた再応募が可能となる特典がございます。

※フィードバック面談の実施数には限りがございますので、お早めにご応募ください。

#### 5. 応募資格

- ・法人登記がなされていること(企業規模は問いません)
- ・プロダクトや技術をお持ちであること

#### 6. 応募方法

NEXCO 東日本 ドラぶらイノベーション Web サイト内に「E-NEXCO OPEN INNOVATION PROGRAM 2025」を公開します。以下の URL よりご応募ください。

《URL》 [https://www.driveplaza.com/innovation\\_lab/](https://www.driveplaza.com/innovation_lab/)

#### 7. 本プログラムに関するご質問・お問い合わせ

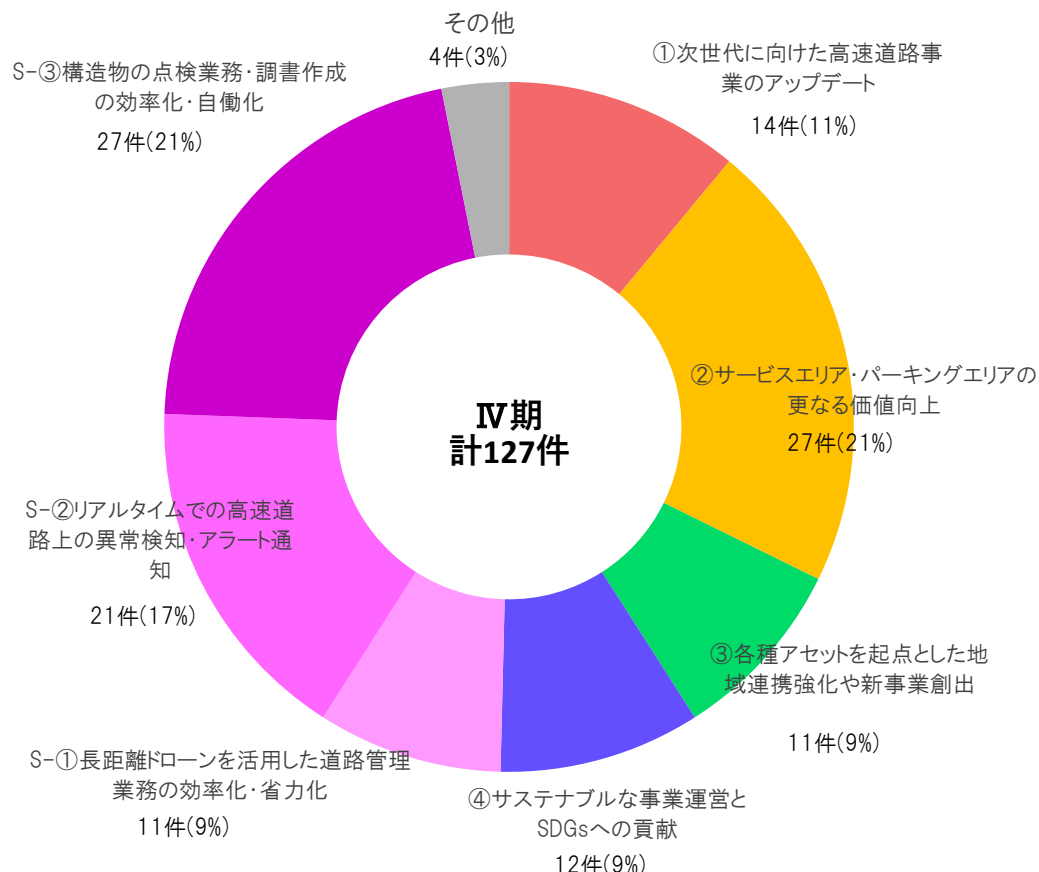
ご質問・お問い合わせは、以下までお気軽にお問い合わせください。

プログラム事務局(株式会社 eiicon 内) e-nexco-oip@eiicon.net
--





# アクセラレータープログラム『ドラぷらイノベーションラボ』第Ⅳ期 募集期間 令和6年8月1日～10月1日

応募総数：127件

## 応募テーマ内訳



## 採択企業：4社

企業名	実証実験内容
株式会社アーバンエックス テクノロジーズ 	汎用スマートフォンのみで、高速道路の区画線の剥離率を測定するPoCを実施中。
InfraX株式会社 	少ない教師データ学習で、高精度かつ高速に異常検知が可能な画像解析AIにより、高速道路構造物の劣化診断を行うPoCを実施予定。
株式会社エアロジーラボ 	2時間、100km以上という長時間・長距離飛行が可能な国産のハイブリッドドローンの活用を検証するPoCを実施予定。
ジオフラ株式会社 	乗り降り自由な「ドラ割」で地域とSA・PAを巡って楽しみ、アプリ連動カプセルトイ「プラポン」も楽しんでもらうデジタルスタンプラリーを秋頃より実施予定。